



第二中だより

No. 579

開校 55 周年

生徒数 490 名

令和 3 年 5 月 6 日

和光市立第二中学校

〒351-0106 埼玉県和光市広沢 1 番 4 号

TEL 048-462-1793

FAX 048-462-1890

<http://2chu.wako-city.ed.jp/>



「新緑の」

校長 橋本 真

「こどもの日、端午の節句」は鯉のぼりを立て、子どもの健康と成長を祝う日です。5月、校庭は「新緑」をたっぷり浴びて



います。春が桜や色とりどりの花々が咲く華やかな季節だとすると5月は木々が育ち、葉の新緑がまぶしい「緑」の季節です。美しい新緑を表す言葉をいくつか紹介します。**万緑(ばんりょく)、若葉、新樹、**瑞々しい若葉におおわれた樹のことを呼び、若葉のころは葉もまだ薄く、太陽光を通しキラキラ輝いて見えます。この新緑の季節、皆さん一人一人の「漲る若さ」で学校生活に勢いをつけてください。令和3年度、1カ月が経ちました。

対面式（4月13日）

フレッシュな新入生の皆さんを迎え、さわやかな雰囲気の中で対面式が行われました。はじめて出会う友だちや先生方など、戸惑うことも多いかと思いますが、焦らず少しずつ慣れていってください。中校生活は一度しかありません。先輩方とともに、これから3年間有意義な中校生活を送り3年後、自分が思い描いた未来へ進めるように頑張ってください。在校生の皆さんは、期待に胸ふくらまる新入生の皆さんに、どうか良い先輩として温かく接してください。先輩としての心配りをお願いしたいと思います。この機会を期に、全校生徒が一致団結し、充実した中学校生活を送れるよう、お互いに頑張っていきましょう。

離任式（4月23日）

毎年のことですが、4月は出会いと別れの季節です。井田先生、川崎先生、箭内先生、加納先生、田代先生、内山相談員に来校いただきました。離任の挨拶をされた先生方の言葉には、二中への思いがにじみ出ていました。どの先生も頭の中で常に生徒の事を考え、生徒に心を寄せながらの日々とそれだけ生徒

が好きで、学校が好きだからという思いが伝わってきました。離任式の挨拶には、そんな先生たちの思いが一举に吹き出る言葉に満ちあふれていました。6人の先生が話される後姿からこんなことを想い、離任される先生方の話を聞いていました。離任されるすべての先生方の今後のご活躍祈念いたします。対面式では、特に3年生が1年生の見本となる3年間の成長した姿があり、離任式では、生徒会の進行で思い出深いお別れの会となりました。今の二中の勢いを存分に発揮でき、二中の良さの表れだと感じました。

ネットトラブル防止講演会（「LINE 未来財団」）

インターネットやアプリは、安全に正しく使うことができるとも役立つ便利なものです。残念ながら、誹謗中傷やいじめの温床になったり、事件や犯罪に巻き込まれるきっかけになることも事実です。さらに、皆さんが被害者だけではなく加害者になるケースさえ考えられます。講師からは、言われて嫌な言葉は人によって違う。目の前に相手がいなくてもインターネットでは感情を読み取るのが難しく、誤解が生じやすくなること。そして、自分と他人との価値観の違い、ネット上での適切なコミュニケーションをとる技能が必要と述べていました。この講演を通じて、コミュニケーションツールなどを「賢く安全に使うための知識・技能」や「ルールを守って使える心」を育むことが大切であると痛感しました。

部活動本入部始動（4月26日）

各部活動では、1年生の新人が入部してグラウンド、体育館、武道場、校舎内と賑やかになってきました。

